



エコー下穿刺に向けた 当院の取り組み

医療法人社団 茨腎会 太田ネフロクリニック

○鈴木舞子 高橋俊彦 上野智敏 酒井伸一郎



【背景】

当院は、平成23年11月よりポータブルエコー NanoMaxx(sonnsite社製)を導入し、穿刺困難の患者様に対し特定スタッフがエコー下穿刺を行っている。

今回、全穿刺スタッフを対象にエコー下穿刺に向けた取り組みを行ったので報告する



【対象・期間】

看護師 16名

臨床工学技士 5名

平成29年9月-11月

【方法】

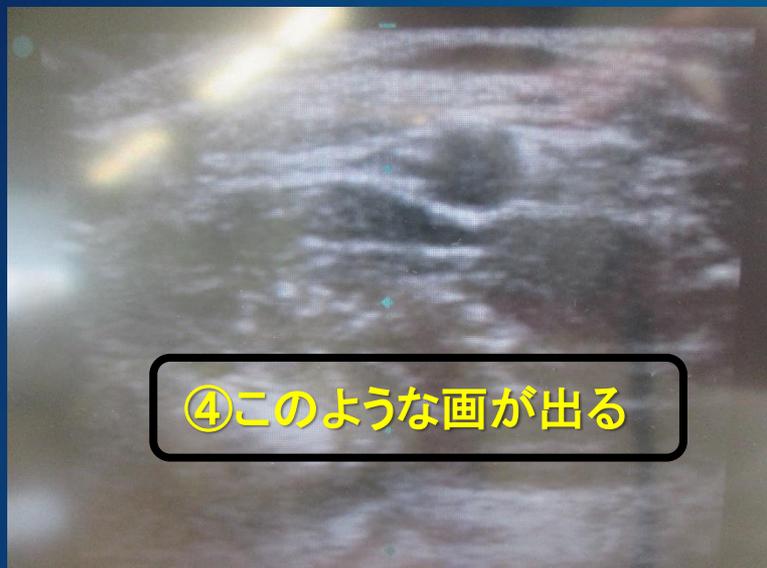
- ①エコーNanoMaxxについての勉強会開催
- ②当院オリジナルマニュアル作成
- ③スタッフ間でのエコー実技練習
- ④確認テスト



方法① 勉強会風景



方法② 当院オリジナルマニュアル



方法③ エコ－実技風景



方法④ 確認テスト

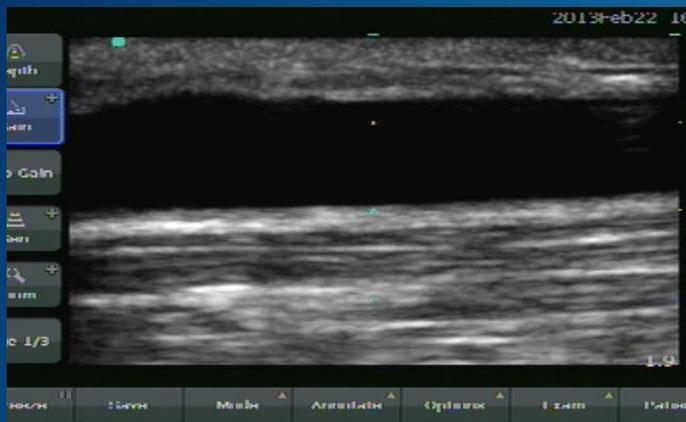
問1 以下の画像は何で調節しますか



問2 次の画像は何像ですか



問3 次の画像は何像ですか



問6 以下の画像で動脈、静脈を答えなさい



【結果】

- ①エコーについての院内勉強会を実施できた。
- ②スタッフが理解しやすいようなオリジナルマニュアル作成ができた。
- ③勤務の隙間時間を活用し、スタッフ間での実技練習や手技に対しての意見交換ができた。
- ④対象者21名全員の確認テスト実施できた。



【考察】

エコー下穿刺に向けた、施行前取り組みは、スタッフの知識と技術の向上につながった。

勉強会に取り組む姿勢や隙間時間の活用風景から院内資格を設けることで、スタッフの意欲の向上や自信につながったと思われる。

オリジナルのマニュアルがあることで技術の統一化が図れた。

以前はエコーに対する苦手意識が多く聞かれていたが、勉強会の開催や実際に触れてみることで払拭された。

【結論】

今回の取り組みにより、穿刺スタッフ全員がエコーに対する苦手意識を払拭できエコー下穿刺に向けた準備をすることができた。

今後は、エコー下穿刺を実践した報告をしていきたい。





第41回
茨城県北透析談話会
COI開示

筆頭発表者 鈴木 舞子

この演題発表に関し、COI開示すべき関連企業はありません。

